



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月3日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）里見 嘉重
問合せ先責任者 （役職名）執行役員財務経理本部長 （氏名）吉村 和正 TEL 03-5644-0600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	19,355	11.7	1,550	△3.8	1,721	△5.0	1,153	△7.9
2026年3月期第1四半期	17,335	2.5	1,611	49.8	1,813	65.4	1,251	67.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 2,082百万円（919.5％） 2026年3月期第1四半期 204百万円（△90.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	46.08	—
2026年3月期第1四半期	50.03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	76,840	55,270	67.6
2026年3月期	76,789	54,111	66.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 51,949百万円 2026年3月期 50,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	16.50	—	36.50	53.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		26.50	—	26.50	53.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	74,000	0.9	5,800	△10.6	6,200	△12.5	4,400	△6.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	26,801,452株	2026年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,773,037株	2026年3月期	1,773,023株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	25,028,422株	2026年3月期1Q	25,022,611株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国等で成長が見られたものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油・天然ガス価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。日本経済においては、物価高の影響により一部に弱い動きがみられるものの、個人消費は底堅く推移しており、景気全体としては緩やかに回復しています。一方で、中東情勢悪化の影響によるエネルギー価格や原材料価格の高騰が国内企業物価の上昇を招いており、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主要取引先である自動車業界では、自動車税環境性能割の廃止などが購入を後押しし、国内の新車販売は全体として底堅く推移いたしました。当社グループにおいても特定の主要顧客向け部品の販売が堅調に推移したものの、中東情勢に起因する原材料価格の高騰やそれに伴う価格交渉の長期化などが不確定要素となっており、業界全体として予断を許さない状況が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,355百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は1,550百万円（同3.8%減）、経常利益は1,721百万円（同5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,153百万円（同7.9%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	17,335	19,355	2,020	11.7
営業利益	1,611	1,550	△60	△3.8
経常利益	1,813	1,721	△91	△5.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,251	1,153	△98	△7.9

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	1,111	1,722	610	55.0
営業利益	170	10	△159	△93.6

前連結会計年度より進行していた国内食品業界向けの大型輸入設備の売上計上が寄与し、大幅な増収となりました。一方で、利益面につきましては、自動車業界向けの製造設備における大型物件の検収遅延による影響等を受けております。

当部門の売上高は、1,722百万円（同55.0%増）、営業利益は10百万円（同93.6%減）となりました。

・化成品部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	7,196	7,951	754	10.5
営業利益	524	492	△32	△6.2

国内市場では、前連結会計年度に立ち上がった新規商材の販売が当期首から売上に寄与しましたが、北米・中国市場では市況悪化や原材料価格の高騰等により収益が圧迫され、減益となりました。

当部門の売上高は7,951百万円（同10.5%増）、営業利益は492百万円（同6.2%減）となりました。

・化学品部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	1,615	1,754	138	8.6
営業利益	123	168	44	35.9

海外市場では、中東情勢や米国の輸入関税に伴う主要顧客の生産減や原材料価格の高騰等の影響により減益となりましたが、国内市場においては、一般工業用ケミカルにおける新規大口案件の獲得及び特殊ケミカルの安定した需要を確保したことに加え、中東情勢に伴う原材料価格の高騰や供給不足に適切に対応したことで、部門全体では増収増益となりました。

当部門の売上高は1,754百万円（同8.6%増）、営業利益は168百万円（同35.9%増）となりました。

・産業用素材部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	5,036	5,136	99	2.0
営業利益	561	556	△4	△0.8

自動車用防音材の製造販売は、主要顧客である自動車メーカー各社の好調な生産により堅調に推移いたしました。一方で、家電用防音材は、市場環境における価格競争の激化に伴う販売価格の下落の影響を受け、収益は弱含みとなりました。

当部門の売上高は5,136百万円（同2.0%増）、営業利益は556百万円（同0.8%減）となりました。

・化工品部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	1,622	1,777	154	9.5
営業利益	194	246	51	26.5

当部門主力の国内メンテナンス用ケミカルや電子産業用ファインケミカルの需要が堅調に推移したことに加え、のれんの償却が完了したことによる費用負担の減少も寄与し、増収増益となりました。

当部門の売上高は1,777百万円（同9.5%増）、営業利益は246百万円（同26.5%増）となりました。

・その他部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	752	1,014	262	34.8
営業利益	35	75	39	111.8

生活資材の主要製品である合成ゴムまな板の力強い需要を取り込んだことで販売が大きく伸長し、増収増益に大きく貢献いたしました。また、化学原料を中心とした輸出入取引につきましても、引き続き堅調に推移いたしました。

当部門の売上高は1,014百万円（同34.8%増）、営業利益は75百万円（同111.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ51百万円増加し、76,840百万円となりました。主な要因は、有価証券の減少（601百万円）、商品及び製品の減少（990百万円）がありましたが、その他流動資産の増加（330百万円）、投資有価証券の増加（1,418百万円）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ1,107百万円減少し、21,570百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加（227百万円）がありましたが、未払法人税等の減少（540百万円）、その他流動負債の減少（576百万円）によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ1,158百万円増加し、55,270百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（239百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（583百万円）、為替換算調整勘定の増加（267百万円）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画（2026年5月12日付決算短信）に修正はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,715	25,634
受取手形及び売掛金	13,280	12,709
有価証券	601	—
商品及び製品	6,421	5,430
仕掛品	479	644
原材料及び貯蔵品	2,814	2,840
その他	1,905	2,235
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	51,216	49,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,608	13,736
減価償却累計額	△8,496	△8,524
建物及び構築物（純額）	5,111	5,212
機械装置及び運搬具	12,135	12,364
減価償却累計額	△10,342	△10,488
機械装置及び運搬具（純額）	1,792	1,875
土地	7,560	7,566
リース資産	1,764	991
減価償却累計額	△1,503	△740
リース資産（純額）	261	250
建設仮勘定	636	711
その他	5,005	4,971
減価償却累計額	△4,198	△4,247
その他（純額）	807	724
有形固定資産合計	16,170	16,340
無形固定資産		
借地権	258	263
その他	163	149
無形固定資産合計	422	413
投資その他の資産		
投資有価証券	7,031	8,450
長期貸付金	223	223
繰延税金資産	477	473
その他	1,333	1,529
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	8,979	10,591
固定資産合計	25,573	27,346
資産合計	76,789	76,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,002	7,909
短期借入金	2,532	2,531
1年内返済予定の長期借入金	128	128
リース債務	163	137
未払法人税等	1,215	675
賞与引当金	1,027	877
その他	3,576	3,000
流動負債合計	16,647	15,259
固定負債		
長期借入金	1,392	1,385
リース債務	363	372
繰延税金負債	1,985	2,212
役員退職慰労引当金	163	168
退職給付に係る負債	2,036	2,082
資産除去債務	34	34
その他	55	56
固定負債合計	6,031	6,310
負債合計	22,678	21,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,547	2,547
利益剰余金	37,714	37,953
自己株式	△644	△644
株主資本合計	41,818	42,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,202	3,786
繰延ヘッジ損益	7	7
為替換算調整勘定	5,829	6,096
その他の包括利益累計額合計	9,039	9,890
非支配株主持分	3,252	3,320
純資産合計	54,111	55,270
負債純資産合計	76,789	76,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,335	19,355
売上原価	12,598	14,564
売上総利益	4,736	4,791
販売費及び一般管理費	3,125	3,240
営業利益	1,611	1,550
営業外収益		
受取利息	41	38
受取配当金	66	67
持分法による投資利益	15	30
為替差益	31	30
その他	88	34
営業外収益合計	243	201
営業外費用		
支払利息	26	13
税額控除外源泉税	5	6
その他	9	10
営業外費用合計	41	29
経常利益	1,813	1,721
特別利益		
固定資産売却益	10	1
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,820	1,722
法人税等	508	520
四半期純利益	1,312	1,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,251	1,153

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,312	1,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	447
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△1,284	248
持分法適用会社に対する持分相当額	21	183
その他の包括利益合計	△1,108	880
四半期包括利益	204	2,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250	2,004
非支配株主に係る四半期包括利益	△45	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	465 百万円	406 百万円
のれんの償却額	25 "	— "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,084	3,109	1,275	3,161	1,327	9,957	587	10,545	—	10,545
海外	27	4,087	339	1,875	295	6,625	164	6,789	—	6,789
顧客との契約から生じる収益	1,111	7,196	1,615	5,036	1,622	16,582	752	17,335	—	17,335
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,111	7,196	1,615	5,036	1,622	16,582	752	17,335	—	17,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	11	28	1	0	94	255	349	△349	—
計	1,163	7,208	1,644	5,038	1,623	16,677	1,007	17,685	△349	17,335
セグメント利益	170	524	123	561	194	1,575	35	1,611	—	1,611

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活資材、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,669	3,780	1,401	3,269	1,448	11,569	885	12,455	—	12,455
海外	52	4,170	352	1,866	328	6,771	129	6,900	—	6,900
顧客との契約から生じる収益	1,722	7,951	1,754	5,136	1,777	18,341	1,014	19,355	—	19,355
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,722	7,951	1,754	5,136	1,777	18,341	1,014	19,355	—	19,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	9	27	1	0	50	24	75	△75	—
計	1,734	7,961	1,781	5,137	1,777	18,391	1,038	19,430	△75	19,355
セグメント利益	10	492	168	556	246	1,474	75	1,550	—	1,550

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活資材、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。